人間文化学部

生活栄養学科

DEPARTMENT OF NUTRITION

生活を豊かにする食環境を
栄養の視点から科学する。

CHECK MORE!
詳しい情報やインタビュー動画は
公式サイトの学科ページをチェック!

学びのポイント

生命科学と栄養学に関する知識と理論を基盤とした、科学的根拠に基づいた食環境を提言する能力を養うために、段階的かつ実践的に栄養学を学びます。1・2年次には生命科学と栄養学の入門的な内容から始まり、基礎知識と基礎理論を学びます。3年次には専門的・実践的な技術を習得し、最新研究に基づいた高度な知識と理論を学習。さらに、病院・保健所等での学外実習により、実際の管理栄養士の活動を学びます。4年次には、卒業研究として学生一人ひとりが最先端の研究課題に取り組み、課題を発見し解決する能力を培います。

POINT 1 ▸ **少人数教育による豊富な実験・実習**
理論を実践と結びつけるために実験・実習を重視したカリキュラムを展開。1学年30名ときめ細やかな教育を行っています。

POINT 2 ▸ **幅広い科目に多角的視野からアプローチ**
講義は出身・専門分野の異なる教授陣によって行われ、他学部・他学科と連携した科目も開講しています。

POINT 3 ▸ **最先端の研究課題に取り組める環境**
学科教員は栄養学をリードすべく研究に取り組んでおり、共同研究や地域連携も活発に行っています。

PICK UP 専門科目

食品加工実習

加工食品の製造を通じて、食品の加工および保蔵の科学的原理や、衛生管理の意義・目的を実践的に学びます。

基礎栄養学実験

栄養状態を反映する尿中の生体指標を分析することで、生体指標を用いた栄養評価の考え方、原理、栄養素代謝の実際を理解し、実験に必要な基本技術を習得します。

STUDENT'S VOICE

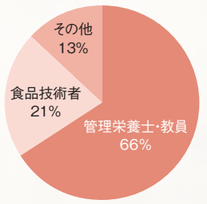
食品栄養の基礎知識を基に
学外などで実習に挑戦しました

1〜2回生では、食品の機能や特徴、栄養素の代謝について学びました。3回生では、2回生までに学んだことを身につけるための実験や実習が中心。100食分の献立作成から調理、提供までを行う大量調理実習や、病院などで管理栄養士の仕事を学ぶ学外実習も経験しました。病院や介護老人施設など慣れない場所で緊張しましたが、自分が将来管理栄養士として働くイメージが持てました。

人間文化学部 生活栄養学科 4回生
久保田 瑞季さん
（長野県立長野高等学校 出身）

進路状況抜粋（2019〜2021年度）

学部卒業生の職種別就職状況



就職先

◆学部卒業生就職先
【医療機関】 彦根市立病院、(医)医誠会、(公財)豊郷病院、(独)国立病院機構近畿グループ、(地独)岐阜県立多治見病院、医療法人 甍友会、(福)恩賜財団済生会滋賀県病院、ちりゅう京極歯科
【行政機関】 滋賀県教育委員会、京都市教育委員会、草津市
【企業】 日清医療食品(株)、富士産業(株)、(株)LEOC、日本ゼネラルフード(株)、(株)魚国総本社、(株)グリーンハウス、エームサービス(株)、(株)塩梅、持田製薬(株)、カゴメ(株)、ユーシーシー上島珈琲(株)、麒麟麦酒(株)、(株)ギンビス、全農パールライス(株)、敷島製パン(株)、(株)不二家、(株)チェリオコーポレーション、(株)阪急デリカアイ、イニシオフーズ(株)、(株)ハーベスト、(株)ファンケル、(株)ツルハ、スギホールディングス(株)、(株)バルニバービ、カナカン(株)、(株)オリンピア、(株)エポックスポーツクラブ、リライズコンサルティング(株)、(株)ABC Cooking Studio、(株)日本保育サービス、戸倉商事(株)、尾家産業(株)、(株)global bridge
【その他】 (福)一乗谷友愛会、(社福)桃林会遊育園、(福)京都社会福祉協会
◆大学院修了生就職先
【医療機関】 滋賀県立総合病院、(医)近藤クリニック、(独)国立病院機構東海北陸グループ、大阪大学医学部附属病院、国立大学法人滋賀医科大学医学部附属病院、(学)杏林大学医学部附属病院、名古屋大学医学部附属病院、(医)錦秀会、(福)恩賜財団済生会滋賀県病院、彦根市立病院
【行政機関】 厚生労働省、各務原市
【企業】 日清シスコ(株)、物産フードサイエンス(株)
【その他】 (独)地域医療機能推進機構東海北陸地区事務所

進学先

大阪市立大学大学院、滋賀県立大学大学院、徳島大学大学院、名城大学大学院

取得可能な資格一覧※

- 栄養士資格
- 管理栄養士国家試験受験資格
  【合格率】2019年度卒：97%
  2020年度卒：97%
  2021年度卒：100%
- 教員免許〈栄養教諭一種〉
- 食品衛生管理者資格および食品衛生監視員資格
- 社会福祉主事任用資格
- 学芸員資格

※すべての資格は、大学が定める所定の科目を履修し、単位を修得する必要があります。